

調査研究題目:鱗翅目データベースの開発および構築
研究機関名:北九州市立自然史・歴史博物館
代表研究者:参事 上田 恭一郎

1. 作成したデータベース内容

概要

本データベースは、鱗翅目に関する多様な情報を整理し、それらが容易に閲覧利用できる環境、基盤を提供する画像標本データベースを構築し、学名にはじまる分類学的データ、分布、生態、形態、DNAといった種情報をあわせ、総合的に利用できるものをめざす。対象は戦前からの国内標本の蓄積と近年東アジアおよび東洋熱帯区の標本蓄積が著しい鱗翅目昆虫標本で、本計画期間内に5万件の画像付き標本データベースを作成する。また本計画では日本国内の鱗翅目昆虫の最新学名辞書、台湾産蝶類の学名辞書、同定困難な小蛾類300種の同定補助ツールが副産物として作成され、利用可能となる。さらに鱗翅目の種の同定には不可欠な雌雄交尾器の図を日本産蝶類240種について添付するが、他の昆虫データベースではここまで詳細なものは無く、東南アジア各国の昆虫インベントリーに大いに役立つことが期待される。

(1). データ源、データ発生場所および入力件数

標本

自機関

鱗翅目昆虫 3,300 件

他機関

大阪府立大学	鱗翅目昆虫	2,200 件
農業環境技術研究所	同	2,200 件
兵庫県立人と自然の博物館	同	2,200 件
九州大学比較社会文化研究院	同	1,100 件

合計 11,000件

予定件数どおりに作成できた。兵庫県立人と自然の博物館から希望があったため、北九州市立自然史・歴史博物館の予定件数を1,100件減らし、兵庫にその分追加した。合計件数は変化していない。

(2). データ入力形式

文字、画像、図

項目的には Darwin Core に準拠

(3). データのクオリティコントロール

日本鱗翅学会、日本蛾類学会の専門家およびアドバイザー委員会を通じて公開前のデータの信頼性についてのチェックを行った。

(4)．データ公開

本データベースは現在東大の伊藤研究室のサーバーにて試験運用中である(<http://moth.c.u-tokyo.ac.jp:3000/top/>) が、セキュリティの問題およびレッドデータリスト掲載種のラベルデータ処置問題を解決後、平成20年4月末に公開し、同じものを北九州市立自然史・歴史博物館のサーバーにて運用する予定。

H19年度成果 11,000 件は平成20年2月29日日本ノードに提出済み。

(5)．本課題終了後のデータ追加更新およびデータベース運用体制、および問題点

(5-1) データベース運用体制

北九州市立自然史・歴史博物館のサーバーおよび東大伊藤研究室のサーバーにて独自ドメイン `lepimages.jp` のもと運用予定。

(5-2) データの追加・更新体制

これまでの機関に加え、不足している分類群を保持している研究者、研究機関と連絡をとり、本データベースへの参加を促す。

(5-3) 追加・更新したデータの GBIF 日本ノードへの提供スケジュール

年度末毎にまとめ提供予定。

(5-4) 見込まれる予算

不明。地方博物館および独立行政法人においては人件費捻出が年々きびしくなっており、サーバー維持費程度が現実的に支出可能な予算と推測される。そのため入力件数は本課題終了後は激減することが予想される。

(6)．その他

2. H19年度の実施状況

	H19/ 7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20/ 1月	2月
(1). 会議開催等			○				○	
(2). データ作成・入力								
(3). 試験公開・公開 (自機関サーバ、他機関 サーバを問いません)								
(4). その他（具体的に 記述してください）								

3. 実施体制

開発責任者	上田恭一郎、北九州市立自然史・歴史博物館、参事 全体の総括
参加研究者	矢田脩 九州大学比較社会文化研究院、教授、 データの入力・管理 広渡俊哉 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科、助教授、 データの入力・管理 吉松慎一 独立行政法人 農業環境技術研究所 農業環境インベントリーセンター、 主任研究員、 データの入力・管理 中西明徳 兵庫県立人と自然の博物館、教授、 データの入力・管理

4. アドバイザリー委員会

(5-1) 構成員

委員長：緒方一夫 九州大学農学部熱帯農業研究センター教授

アリのデータベースを作成時中心的なメンバーの一人

委員：鵜川義弘 宮城教育大教授（生物情報学）DB一般

委員：吉安裕 京都府立大学農学部教授（応用昆虫学）鱗翅目一般

(5-2) 委員会開催日、開催場所および概要

別紙参照

5. ワーキンググループ

(5-1) 構成員

矢田脩 九州大学比較社会文化研究院、教授

広渡俊哉 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科、助教授

吉松慎一 独立行政法人 農業環境技術研究所 農業環境インベントリーセンター、主任研究員

中西明德 兵庫県立人と自然の博物館、教授

神保宇嗣 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系 PHD

(5-2) ワーキンググループ開催日、開催場所および概要

開催日：平成19年9月15日

開催場所：神戸大学

概要：データ入力状況の確認、問題点のヒアリングを行った。